

神戸学生青年センター センターニュース

KOBE STUDENT YOUTH CENTER NEWS No.114

No.114

発行所 (公財)神戸学生青年センター
理事長 飛田 雄一
館長 朴 淳用
〒657-0051 神戸市灘区八幡町4-9-22
TEL (078) 891-3018 FAX (078) 891-3019
Yahata-cho 4-9-22, Nada-ku
Kobe, 657-0051 Japan
E-mail: info@ksyc.jp
U R L https://ksyc.jp

「場のチカラ」が 醸成する ユースワークの拠点



関西学院大学准教授
神戸学生青年センター理事
六甲奨学基金運営委員長

岩坂 二規



2年前のセンターニュースに、飛田雄一理事長が学生センター開所50周年に寄せた文章を綴られています。1955年に設立された「六甲キリスト教学生センター」を前身に現在まで引き継がれたこの活動の根本は、「場所」の提供とそこで起こる出会いの創出であることが述べられています。

私は旧聖和大学学生YMCA（現関西学院大学聖和キャンパス学生YMCA）の顧問として、学生といっしょに前センタービルの会議室やホール、和室などでたくさんの豊かな学びと交流の時を過ごしました。活動休止中の神戸大学学生YMCAの事務局が学生センターに置かれていたこともあり、利用しやすいようにいろいろと配慮いただいて、近隣の学生YMCAにとって第2のキャンパスまたは保養所のような場所でした。

関西地区の大学・専門学校の学生YMCAのオリエンテーション合宿や、ハンセン病療養所訪問プログラムの準備会、合同聖書研究会なども行いました。交通至便で集まりやすく学生に優しい料金と環境を備えたセンターは、貴重で居心地の良い場所でした。そのような場所があったからこそ、その時々対話と学びの交流の時間が刻まれ、そこにいた一人ひとりの経験が社会に還元されていったのだと思います。

「場」のチカラによって「時」を有意なものにする学生センターは、キャンプと研修の間のような存在でした。若い人たちにとって、台所でいっしょにご飯をつくって輪になって食べ、初対面の仲間と夜通し語り、寝顔と寝起きの顔を晒せる関係づくりを、山の上の野外施設

に行かなくても経験できる場所でした。学校での「受講」とは異なる自分たちでデザインする学びの空間がそこにはありました。

コロナ禍の最中に移転し、次の半世紀に向かう歩みを始めた新しいセンターには、残念ながら宿泊設備がありません。しかしながら、学生センターが紡いできた場のチカラは、これからも集う人にかけてがえのない時を編み続けることなのでしょう。さらに駅近で電車から大きな文字で看板が見えるようになったセンターが、人と出会い対話することがますます困難な時代のユースにとって、安心して希望を語り合うことのできる「居心地＝心をおける場所」そのものになりますように。

かつて福祉国家型の社会を志向した英国で発達した若者の福祉を支える「ユースワーク」の取り組みは、子ども若者の貧困が指摘されて久しい日本の状況にも当てはまります。資本主義経済自体が根底から揺らぎ、資源の限界とともに格差と分断、争奪の構造を招いている世界にあって、これまで支援の対象だったユースこそが、新しい持続可能性の創り手になるのではないかと考えています。この場所が、そんな新しい「ユースワーク」の拠点の役割を担うことを願います。

このたび、センターの理事とともに、六甲奨学基金運営委員長を務めることになりました。直接お会いしたことがない方がたくさんいらっしゃると思いますが、どうか仲良くしてくださいね。よろしく願いいたします。

六甲奨学基金2023年度は 8名の留学生に支給しました

Aさん:一年間お世話になりました。奨学金をもらった時から勉強することを優先しました。そのおかげで日本語が上手になりました。日本のことやビジネスマナーもよく学べる時間がありました。私はこちらのことをいつも思い出しています。

Bさん:この一年間神戸学生青年センターでもらった奨学金を使って生活がらくにくなりました。一年間お世話になりました。ありがとうございます。

Cさん:この一年間、六甲奨学基金の奨学金を頂戴し、心から感謝しております。日常生活の負担が減らして、日本語の勉強を集中できます。将来日本就職ができること、余裕な金があれば、必ず寄付して、ほかの留学生を助けることを目指します。

2024年度は9名の留学生に支給します。

林賢宜さんの韓国料理教室

12月は純豆腐・ごぼう煎、2月は白菜入りチヂミ・さばと大根の韓国風煮付、3月は干しエビの炒め物・牛肉イカ入りコチュジャンチゲを教えていただきました。林賢宜さんの韓国文化のお話魅力です。5月はお休み、6月以降の教室にご参加お待ちしております。



12.2 メニュー

講演会「広島原爆の前に、神戸山中に「模擬爆弾パンプキン」が落とされた」

神戸大学大学院生・西岡孔貴さんの講演会。神戸には1945年7月24日、4発の模擬爆弾が投下され、そのうち1発は神戸製鋼を目標に投下されたものです。ところが、その1発がどこに落ちたか、明らかではありませんでした。西岡孔貴さんは、その場所を調査。調査の結果、現神戸高校裏手の摩耶山に着弾した可能性が浮上しました。決め手になったのは、日記と航空写真でした。当日は、摩耶山の調査をともにくださった山岳会の方も参加、発言してくださいました。センターの裏山の摩耶山、とても身近な話でした。



2.15 西岡孔貴さん

世界自然遺産地やんばる北部訓練場返還地の 米軍廃棄物パネル展

世界遺産として知られる沖縄島北部やんばるの森には手つかずの大自然が多く残っています。同時に広大な敷地の米軍訓練基地が今も存在し、返還地からは米軍による廃棄物がそのまま放置され、自然環境に大きな影響を及ぼしています。ギャラリートークでは米軍廃棄物を長年調査しておられる中村之菊さんが「世界自然遺産の欺瞞と暴力」をテーマに、基地が沖縄に集中する根本的な原因等、実際の廃棄物を持参の上、詳しく解説して下さいました。参加者は約30人。



1.20 中村之菊さん

ビルマ(ミャンマー)人難民画家 マウンマウンティン絵画展&講演会

すてきな絵が3階ロビーに展示されました。弾圧を逃れてタイ・ミャンマー国境で暮らす画家が30年の月日のなかで見つめ描いたものですが、とてもやさしい絵でした。講演会は、3月3日「ミャンマー(ビルマ)、続く苦難と新しい国づくりー政治・国際関係・人びとの暮らし」をテーマに根本敬さん、「歩く・見る・撮るー写真民族誌/民俗誌へのいざない」の宇田有三さん。2021年に軍事クーデターのこと、その背景を学びました。



3.3 根本敬さん



2.26~3.3 絵画展

地球屋本舗作品展2024

地域活動支援センター・地球屋本舗が昨年に引き続き、学生センター本館1Fサロン室で2/16~19作品展を開催されました。今回は天候に恵まれなかったことが残念でしたが、懐かしい出会いや新たな交流の場となった作品展でした。



2.17 地球屋本舗作品展



会議室A (本館ウエスト100)

会議に... ゼミ・会議・講演会に

<1時間以上30分単位でご利用いただけます>

ご予約は6か月前より

☎078-891-3018

会場利用料金(1時間ごと)



スタジオB(ノース10)

■ウエスト100(本館)				
部屋名	定員数	広さ	料金(一般)	料金(学生)
ホール(2F)	60名	90㎡	2,200円	1,760円
会議室A(1F)	36名	60㎡	1,650円	1,320円
サロン室(1F)	20名	40㎡	1,650円	1,320円
会議室B(4F)	18名	25㎡	1,100円	880円
和室(4F)	12名	20㎡	1,100円	880円
会議室C(4F)	4名	8㎡	550円	440円

※ホール: グランドピアノ3,300円/回
会議室A: グランドピアノ2,200円/回
プロジェクター2,200円、マイク550円/本

■ノース10(北館)				
部屋名	定員数	広さ	料金(一般)	料金(学生)
スタジオA	24名	35㎡	1,650円	1,320円
スタジオB	24名	30㎡	1,375円	1,100円
スタジオC	12名	20㎡	1,100円	880円

※スタジオA: アップライトピアノ1,100円/回、プロジェクター2,200円

- ・準備、あとかたづけを含め、すべて利用時間内に行ってください。
- ・キャンセルをされる場合は必ずご連絡をお願いいたします。
- ・連絡なく利用されなかった場合は利用料の100%。当日キャンセル80%。前日のキャンセル50%。前々日までのキャンセル無料です。
- ・当館には駐車場がございません。ご了承ください。

事務所はウエスト100(本館)



ウエスト100 〒657-0051 神戸市灘区八幡町4丁目9-22

ノース10 〒657-0065 神戸市灘区畷山町3丁目3-1 六甲駅前ビル4F

- 阪急六甲より徒歩1分
- JR六甲道より徒歩10分

食料環境セミナー

1月は兵庫県立農林水産技術総合センター次長兼兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科客員准教授の西村いつきさんより、『今、なぜ、有機農業が注目されているのか?—コウノトリが教えてくれたもの』をテーマにお話して頂きました。コウノトリの絶滅には、農業使用や水田環境の変化が餌生物を減少させ、農業の生物濃縮がコウノトリの繁殖機能を奪ったことが要因の一つであることを説明して頂きました。2002年よりコウノトリ育む農法確立に着手し、2009年兵庫県環境創造型農業推進計画策定、2018年有機農業推進計画策定、2023年には兵庫県環境と調和のとれたみどりの食料システム推進基本計画が策定されるまでの一連の動きについて多様な資料を用いて説明して頂きました。



1.20 西村いつきさん



2.17 西尾勝治さん



3.16 遠藤順子さん

2月は西尾フォレストファーム代表西尾勝治さんより、『有機農業でつながり、地域に寄り添って暮らす—岐阜県白川町ゆきハートネットの歩み』というテーマでお話して頂きました。西尾さん自身が54歳で脱サラ就農し、20年以上ゆきハートネットを牽引してきた中心メンバーとしての多様な経験をお話して頂きました。白川町の特徴、NPO法人ゆきハートネットの取組みとして技術向上・販売促進・体験交流・就農支援の4つの事業を中心に説明して頂きました。

3月は六ヶ所村の新しい風共同代表遠藤順子さんより、『トリチウムによる内部被ばくの危険性』というテーマをZoomでお話して頂きました。外部被曝と内部被曝相違点から始め、トリチウムに関する基本的な説明と有機結合型トリチウムは何なのか、また環境中を循環している仕組みについて説明して頂きました。特に、有機結合型トリチウムが植物や動物に蓄積し、食物連鎖によって最終的には人間に最も蓄積され、トリチウムによる内部被ばくの影響を受ける可能性があり、有機結合型トリチウムが体内に蓄積されることによってガンや白血病発症のきっかけとなり得ることや、子孫にも影響を及ぼす可能性があることについて詳しく説明して頂きました。

土曜ティーサロン

12月は「台湾の歩き方」謝宇帆さん(学生センター日本語サロン学習者・神戸電子専門学校)、2月は「ミクロネシアの歩き方」北村義雄さん(JICA兵庫シニアOV会会長)、3月は「トルコの歩き方」成味るりさん(東京都在住)がお話して下さいました。その土地ならではの楽しい話題提供をありがとうございました。4月以降も多彩な講師に来て頂き、幅広い国・地域を旅する予定ですので、是非お越し下さい。第1土曜日の午後2時からです(1・5・8月休み)。



12月 謝宇帆さん



2月 北村義雄さん



3月 成味るりさん

崔善愛 ピアノ&トーク「ショパン 花束に隠された大砲」

学生センターでは月一回、『週刊金曜日』の神戸読者が開かれています。その読者会と共催でコンサートが実現しました。崔善愛さんはセンターとも関係の深かった崔昌華牧師の娘さんで宝塚生まれです。指紋押捺拒否の時期に海外留学をされましたが、日本政府は「再入国」をださず崔さんは多くの困難をかかえることにもなりました。新しいセンターでのピアノコンサート、緊張してのぞみましたが調律もばっちりですてきなコンサートになりました。『ショパン—花束の中に隠された大砲』(岩波ジュニア新書)の著書もある崔さんのショパンの話もとても深いものでした。



2.23 崔さんを囲んで、金曜日読者会メンバー、金曜日の植村隆社長、文聖姫編集長ら

六甲ウィメンズハウス入居受付開始

2024年6月中旬入居開始を目標として、現在、内部工事が終わり、5月6月に内覧会を開催する予定です。

六甲ウィメンズハウスは、さまざまな困難を抱えた女性・子どもが孤立せずに安心して暮らし、自立していけるよう支えるための住まいです。スタッフが建物内に常駐し、孤独感を解消しながら経済的・精神的に自立し、出発することをサポートします。

2024年度に新しく『あまがさき住環境支援事業「REHUL(リーフル)」』に参加することになりました。尼崎市営住宅の空き室を利用し、留学生への居住支援を行う予定です。

引き続きみなさまのご関心とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



定期利用
グループ・教室のご案内

- ◆からむい会(絵更紗) 第2・4木曜日・後0~4:00
連絡先・小塚 078-731-3694
- ◆すぎなコーラス 月曜日・前10~12:00
連絡先・大谷 078-861-0338
- ◆神戸女声合唱団 金曜日・前10~12:00
連絡先・谷山 078-783-8665
- ◆創作アプリケ 第2・4月・金曜日・前10~12:00
第2・4金曜日・後1~3:00
柏原先生 078-821-4632
- ◆ノイエカンマーコール(混声コーラス) 第1・3・4土曜日・後5:30~9:00
連絡先・西山:080-5704-5406
- ◆ヨガ体操 火曜日・前10:00~12:00
廣瀬先生 078-851-8851
- ◆全球連会員・熊内そらばん六甲教室 火・後3~7:00、土・後2~5:00
奥野先生 078-241-1095
- ◆テコンドーアカデミー武哲館道場 毎週金曜日・後7~9:00
妹尾先生 070-1046-1575
- ◆実践空手道場稽古会 毎週月曜日・後4~9:00
藤本先生 078-842-5669
- ◆すずめの学校(ニューヨークタイムズ紙を読む会) 第1・3金曜日 前10:00~12:00
連絡先・三田 090-7092-6903
- ◆前田書道会 第1・3火曜日・前9~後3:00
前田先生 078-385-1650
- ◆Rokko kids English Club 木・金 幼稚園クラス・親子クラス
山本先生 078-585-9328
- ◆東神戸トースタマスターズクラブ 第4土曜日 後1~5:00
連絡先・高橋 090-8160-2389
- ◆崑曲勉強会 第3日曜日 後1~5:00
連絡先・村田 078-806-8243
- ◆神戸フィラデルフィア教会 聖書の会 日曜日・前10~後1:00
連絡先 078-871-9192
- ◆公文阪急六甲駅前書写教室 水曜日・後3:00~8:00、土曜日・前9~後3:00
高田先生 080-4485-7877
- ◆居空間RoCoCo 火・水・木
連絡先 070-5346-6550
- ◆親子で手しごと『いいねっご』 第2土曜日・前9時~12時
連絡先・桑田 090-7755-0807
- ◆ハーモニースマイル 第1・3水曜前10~12時
第2・3・4金曜後1:30~3:30
松本先生080-5353-4135

お問合せやお申込は、各グループ・教室に直接ご連絡ください。

※当センターへの寄附金は、①所得控除または②税額控除が受けられます。賛助会費、六甲奨学基金募金の両方に適用されます。詳しくはセンターにお問い合わせください。

賛助金・六甲ウィメンズハウス募金 2023.12.1~2024.3.20(敬称略・単位円)

Table listing donors and amounts for the Women's House fund. Includes names like 岡野克子, 酢屋善元, 五十嵐広司, etc., and a total of 854,128円.

賛助金ご協力をお願い

●賛助会費：一口 A3,000 B5,000 C10,000
※いずれも一口を単位としますが、何口でも結構です。
※送金方法 郵便振替 (01160-6-1083 公益財団法人 神戸学生青年センター)

六甲奨学基金 2023.12.1~2024.3.20(敬称略・単位円)

Table listing donors and amounts for the Scholarship Fund. Includes names like 高岡茂一郎, 林みち代, 掛橋寛和, etc., and a total of 382,500円.

六甲奨学基金ご協力をお願い

●賛助会費：一口 A3,000 B5,000 C10,000
※いずれも一口を単位としますが、何口でも結構です。
※送金方法 郵便振替 (01160-6-1083 公益財団法人 神戸学生青年センター)

セミナーの記録

2023.12.1~2024.3.20

食料環境セミナー

1月20日「今、なぜ、有機農業が注目されているのか?」
2月17日「有機農業でつながり、地域に寄り添って暮らす」

土曜ティーサロン

12月2日「台湾の歩き方」
2月3日「ミクロネシアの歩き方」

朝鮮語・韓国語講座

夜初級1 毎週火曜日 尹智香さん

夜上級 毎週木曜日 尹智香さん
応用 毎週金曜日午前 林賢宜さん

第26期農塾

生産者のお話と農産物の販売
12月2日石野武さん

六甲奨学基金

日本語サロン 毎週月・土曜日
古本市(常設)開催

ろっこうおーがにつく市

非営利団体くらしの中のおーがにつく(共催)
毎週土曜日10時~13時
野菜他の販売と交流会
12月23日、2月24日
六甲おーがにつく食堂(共催)

林賢宜さんの韓国料理教室

12月2日純豆腐・ごぼう煎
2月3日白菜入りチヂミ・さばと大根の韓国風煮付

その他のセミナー・行事

12月8日神戸大学YMCA「KOBEMass Choir クリスマス・ゴスペルコンサート」(後援)
12月9日高作先生と学ぶ会「技術の進歩に脅かされるプライバシー」

会「台湾高地先住民との関りから考える脱植民化」中村平さん(後援)
1~2月六甲ウィメンズハウスプロジェクトチーム主催 DIYボランティア募集
1月20日世界自然遺産地やんばる北部訓練場返還地の米軍廃棄物パネル展(共催)
2月15日講演会「広島原爆の前に、神戸山中に「模擬爆弾パンキン」が落とされた」